



2025年2月20日

各 位

会社名 杉本商事株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 杉本 正行
(コード番号：9932・東証プライム)
問合せ先 執行役員管理本部長 中根 潤二
(TEL：06 - 6538 - 2661)

取締役会の実効性評価結果の概要について

当社は、取締役会の実効性を高めより充実したコーポレートガバナンス体制の構築と中長期的な企業価値向上を目指すため、東京証券取引所が定める「コーポレートガバナンス・コード」に基づき、取締役会の実効性に関する評価を実施しましたので、その結果の概要について下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 評価の方法

以下の項目に関して、取締役5名及び監査役3名全員に外部機関の協力を得て、匿名でアンケートを実施し、その結果について2025年2月20日開催の取締役会で分析・評価を実施致しました。

- (1) 取締役会の構成について
- (2) 取締役会の運営について
- (3) 取締役会の議題について
- (4) 取締役会を支える体制について
- (5) 取締役会としての株主との対話

2. 外部機関の評価結果（概要）及び今後の対応

評価の結果、当社の取締役会の実効性については、概ね確保されていると評価されました。

当社は、2021年度以降、外部機関の協力を得て、取締役会の実効性評価を実施してまいりました。評価結果は、当社取締役会の課題を認識し、改善につなげるための方策

を議論することに役立ててまいりました。その結果、全体的な評価は徐々に改善傾向にあると認識しております。

一方で、以下の設問については不十分と感じる役員がいることから、それらの部分を部分的に補完する議論が、今後の取締役会において必要であることを認識いたしました。

① 取締役会資料の分量及び事前検討時間について

前回は引続き、本事項に関して課題視する意見がありました。資料の分量や事前検討時間を十分に確保するために、執行役員による役員への説明時間や資料のとりまとめを行う事務局の設置を、今後の検討事項として認識いたしました。

② サステナビリティを巡る課題について

前回は引続き、本事項に関する議論の十分性について課題視する意見がありました。サステナビリティを巡る課題については、統一された見解・指標を決定したうえで、より深い議論を進めていく必要があることを認識いたしました。また、提出議案だけでなく、サステナビリティや中期経営計画、資本コスト等、積極的に議論し合う時間を持つことを意識してまいります。

③ 個々の取締役の自己に適合したトレーニング機会の提供について

各取締役は、必要なトレーニングを受ける機会を与えられておりますが、一部、十分性について意見がありました。取締役会において、個々の取締役にどのようなトレーニングが必要であるか検討し、社内・社外問わず、十分なトレーニング機会が提供されるよう議論してまいります。

当社は今後も、持続的な成長と中長期的な企業価値向上のために、今回の評価結果及び課題への対応を踏まえて、取締役会の実効性の向上を図ってまいります。

以上